平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		機能訓練				所管	福祉部 障害福祉課					
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度						
	長期総合計画体系	[基本目標]							[事業開始]	昭和52年度		
		[小 柱]								[終了予定]	- 年度	
	根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	東京都台東区松が谷福祉会館条例								
	事業対象	区内に在住する18歳以上65歳未満の身体障害者手帳を有する者で医師が訓練を必要と認めた者										
	事業目的	医療終了後(維持期)の身体障害者に対し、障害を認めた上で療法訓練により機能の維持、改善、生活指導を図り、日常生活の自立、社会参加を目的とした指導・助言を行う										
	事業内容	障害者総合支援法における地域活動支援センター事業として脳卒中等中途障害者の機能回復訓練を実施。個々の機能に合わせて、理学療法・作業療法・言語療法を各療法士の指導により、週一回～二回訓練を行う。(自主訓練を含む、一回2時間30分) また、社会参加を目的とした外出訓練等を月一回程度実施し社会資源の活用支援を行う。 嘱託医(内科・整形外科)による検診を月一回実施。新規のサービス利用判定及び個別に年1回程度訓練内容の見直しを目的として行い、機能やニーズに合わせた訓練プログラムを立案する。										
	委託の有無	一部委託	委託内容	非常勤職員検診								
補助金の有無	国・都											
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度					
	活動指標	在籍者数	人	15	16	15	15					
		訓練実日数	日	192	193	192	192					
	成果指標	一人あたりの訓練日数	日	77	78	77	77					
		就労・年齢到達等修了者数	人	1	2	2	2					
	決算額	(単位：千円)			12,041	15,828	15,681					
	事務事業コスト	人にかかるコスト(人件費など)			21,494	24,528	24,571					
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			449	464	484					
		(単位：千円) その他のコスト(扶助費・補助費など)			0	0	0					
		総経費			21,943	24,992	25,055					
財源項目	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0						
	(単位：千円) その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			6,783	8,601	8,689						
	一般財源(区負担額)			15,160	16,391	16,366						
前年度から改善した事項	生活改善の必要な利用者に対し、ご家族との密な連携体制(訪問・面談等)をとり、改善に向けている。											
評価の視点	評価	評価の理由										
	必要性	3	医療を終えた若年の脳卒中等中途障害者の訓練は介護保険での対応ではなじめない。より生活に密着した(公共交通機関の利用、社会資源の活用、外出等社会参加)リハビリの提供が必要である。									
	効率性	3	機能訓練は専門性が不可欠なため予算の殆どが人件費である。地域生活に密着した外出など社会参加活動を充実させて取り組んでいる。外出や社会参加の充実のためには人手が必要であるが自立支援センターで育成しているボランティアの活用によりコストを抑えた中でも安定したサービス提供に繋げている。									
	手段の適切性	3	若年で比較的機能の安定した方の社会参加を目的とした訓練は、医療・介護保険との役割分担を明確にした上で自主的且つ継続的に行うよう働きかけることにより、残存機能を生かした豊かな地域生活に結びついている。									
	目的達成度	3	個々に合わせた訓練メニューを専門療法士が立案し、生活の中に習慣づけることで、リハビリ期間の終了後も月一回の自立支援センターでの自主リハビリサークルとして継続していけるような仕組みが出来ている。									
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)						今後の方向性	評価結果					
若年層の脳卒中等中途障害者の地域生活に密着した社会参加を目的としての機能訓練は他になく、障害を受け止め、付き合いながらも豊かな生活を継続できるよう事業展開をしていく必要がある。												
						維持	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了					